

Chapter 7

教職について

7.1. はじめに

ここに記載されているのは **2022 年度の情報** です。2023 年度は変更されている可能性があるため、**必ず最新の情報を確認**するようにしてください。

7.2. 生物学類で取得できる教員免許

生物学類で取得できる免許状は、

1. 中学校教諭一種 (理科)
2. 高等学校教諭一種 (理科)

の2つです。他大学では学部によって免許状の種類が限定されていますが、筑波大学では所属外の学群・学類で取得できる教科の免許についても、**必要単位**を修得すれば取得可能です。これは、筑波大学では**他学群・学類の授業を自由に履修することができる^{*1}**からです。しかし、必修の授業と重なることもあるため、計画的な履修を心掛けましょう。

7.3. 履修について

教職課程は、「**教職に関する科目**」(なぜ、どのように教えるのか)と「**教科に関する専門的事項**」(何を教えるか)の2つの科目群から構成されます。卒業必要単位は124単位、中学校の教職課程は67単位、高校は69単位ですが、 $124+67+69=260$ 単位!という計算にはなりません。多くの単位が中高の免許で併用でき、**一部は卒業単位として認められます**。そのため、中高セットで取得した場合でも必要単位数は約150単位になります。ちなみに、中学理科の免許を取得すると高校理科の条件も満たします。

履修の際は、「**履修要覧**」「**資格取得科目一覧**」という冊子や、教職説明会で配られる資料などを参考にしてください。単位には標準履修年次が設定されています。まずは**標準履修年次1年の単位を取得できるように**一年間の計画を立てるのがおすすめです。友人と相談しつつ、不安なら周りの先生や支援室に相談することもできます。しかし、最後は自己責任です。まかせっきりにせず、自分で確認すると思います。また、教職課程についての情報は、manabaやTwinsという**公式サイトに随時公開されますが、見逃しがち**です。お気をつけて。

7.4. 教職課程の良いところ

まず、教員免許を取得することができます。教員免許の更新制度が廃止されたため、有効期限はありません。卒業後すぐに教員になるつもりはなくても、**免許状を持っていると選択肢が広がります**。

次に、**教育に関する幅広い知識**を得ることができます。教職課程の授業は、自

¹ 俗に言う、**開かれた大学**というやつです